

赤十字でつなぐ、わたしのおもい。

遺贈・相続財産寄付・お香典寄付のご案内

「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」「葬送を簡素にする分、寄付したい」「お香典の一部を寄付したい」といった尊いお申し出、ご相談が増えております。

日本赤十字社茨城県支部では、このような尊い思いに応えるため、遺贈（遺言による寄付）、相続財産、お香典による活動資金のご寄付を承っております。ご相談も隨時受け付けております。

遺贈

遺言書に当支部あての寄付を記載して、
執行者に寄付を指示すること
執行されたご寄付分は
相続税の対象外となります

相続財産寄付

故人様から相続した資産を
当支部に寄付すること
当支部へのご寄付分は
相続税の対象外となります

お香典寄付

お香典から
当支部に寄付すること
ご遺族が寄付金控除を受けられます
日赤のお礼状をご用意できます



「遺贈・相続財産寄付」に関する
パンフレットをご用意しています
お気軽にご連絡ください
茨城県支部 組織振興課
Tel:029-284-1380(直通)

チャリティ終活セミナーを開催しています

明るく終活を考える機会として、金融や相続の専門家による「終活セミナー」を開催しています。
次回の開催予定は、茨城県支部ホームページなどでお知らせしています。



「日赤茨城」読者アンケート



◀こちらの二次元コードから専用フォームでご回答ください！
抽選で15名様に赤十字グッズ詰め合わせをプレゼント！▶
回答締切 令和8年3月31日(火) 23:59まで

※個人情報は厳重に管理し、プレゼントの送付先情報に使用するほか、
日本赤十字社茨城県支部からの各種ご案内、活動資金募集などに使用します。



商品写真は一例です。
内容・提供点数は異なる場合があります

日本赤十字社
茨城県支部
活動資金専用
払込取扱票

赤十字へのご寄付は任意です。
この広報紙をはじめ、赤十字からの各種ご案内は、
ご寄付を強制するものではありません。

資金の有効活用のため、この受領
証をもって日本赤十字社の受領証に
かえさせていただきます。
なお、本受領証は寄附金控除の
申告にご使用いただけます。

払込みいただいた金額は個人に
ついては、所得税法第78条第2項
第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人
税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社
茨城県支部 組織振興課
電話 029-284-1380(組織振興課直通)

ご注意
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内には
はっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は
郵便局の窓口にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は無料となります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、
おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となる
ものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。



ふれあう。

広報紙「日赤茨城」 2026.冬号
編集・発行 日本赤十字社茨城県支部 〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551

タイ赤十字社ユースメンバーとの交流
(制作した扇子を披露：茨城県立水戸桜ノ牧高等学校)



日本赤十字社は
2027年に150周年。



茨城県支部WEBサイト
令和7年度事業計画及び
一般会計歳入歳出予算



茨城県支部WEBサイト
令和7年度事業計画及び
一般会計歳入歳出予算

ふれあう。

日本赤十字社は、海外の赤十字・赤新月社とのネットワークを生かして、国を超えた支援や文化交流を行っています。

茨城県支部では、今年もさまざまな交流機会をとおして、海外の赤十字メンバーと県内各地の青少年赤十字（JRC）メンバーや地域のみなさまとのふれあいの機会に恵まれました。

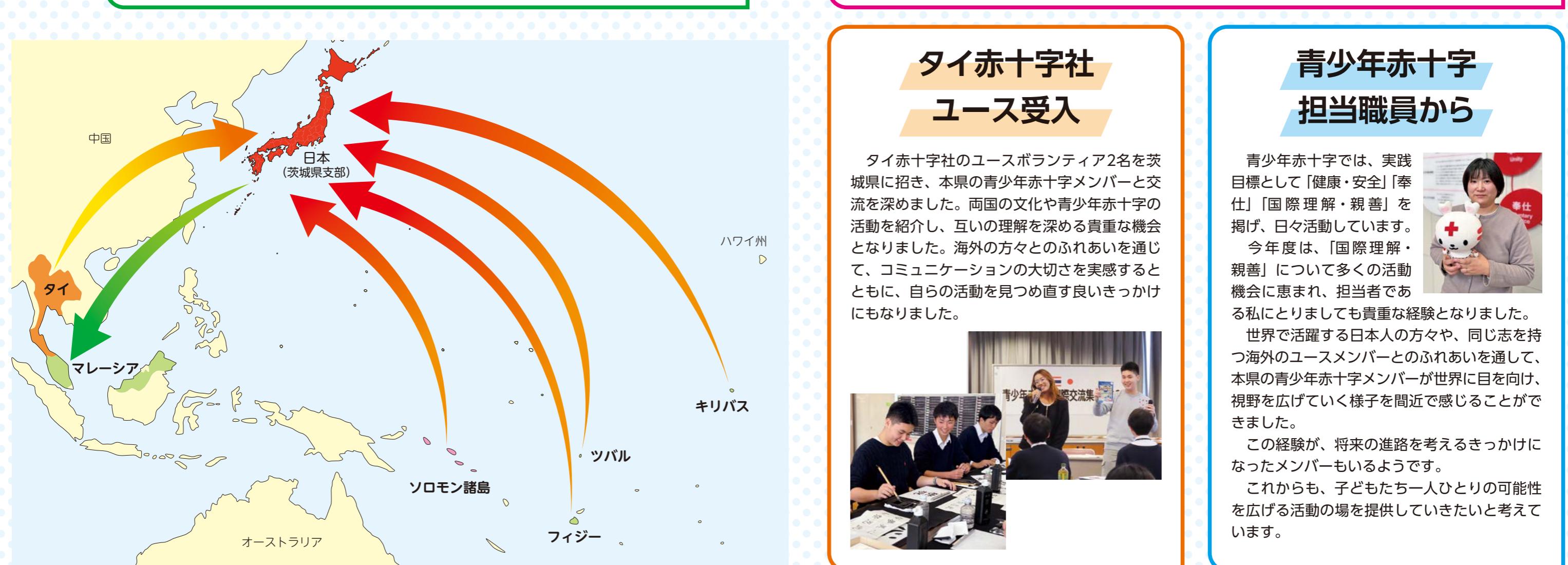
※JRC : Junior Red Crossのこと。

北関東三県支部マレーシア派遣



茨城県、栃木県及び群馬県の北関東三県支部は、国際理解と親善を深めることを目的として、三県共同で青少年赤十字メンバーおよび指導者を海外に派遣しています。

令和7年度はマレーシアへの派遣を行い、現地の方々との親睦を深めるとともに、日本と異なる文化に触れ、新たな発見や学びを得ることができました。



県JRCリーダーシップ・トレーニング・センターでの 太平洋諸島赤十字ユースとの交流

JRCリーダーシップ・トレーニング・センターは、毎年夏休みに開催している、青少年赤十字の活動の中で最も特徴ある宿泊体験プログラムです。県内の中学生・高校生が参加し、赤十字の歴史や国際人道法の学習、救急法、フィールドワーク、活動計画づくりなどに取り組みました。参加した生徒たちはプログラムを通じて、学年や学校を越えたつながりが生まれました。

今年は特別企画として、太平洋諸島からお招きしたゲストの方々に、現地の赤十字活動や気候変動についてお話しいただきました。太平洋諸島の文化や課題をより身近に感じる機会となりました。



タイ赤十字 ユース受入

タイ赤十字社のユースボランティア2名を茨城県に招き、本県の青少年赤十字メンバーと交流を深めました。両国の文化や青少年赤十字の活動を紹介し、互いの理解を深める貴重な機会となりました。海外の方々とのふれあいを通じて、コミュニケーションの大切さを実感するとともに、自らの活動を見つめ直す良いきっかけになりました。



青少年赤十字 担当職員から

青少年赤十字では、実践目標として「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を掲げ、日々活動しています。

今年度は、「国際理解・親善」について多くの活動機会に恵まれ、担当者である私にとりましても貴重な経験となりました。



世界で活躍する日本人の方々や、同じ志を持つ海外のユースメンバーとのふれあいを通して、本県の青少年赤十字メンバーが世界に目を向け、視野を広げていく様子を間近で感じることができました。

この経験が、将来の進路を考えるきっかけになったメンバーもいるようです。

これからも、子どもたち一人ひとりの可能性を広げる活動の場を提供していきたいと考えています。

県内赤十字施設の動き



気候変動の影響に対し、
私たちにできること
◀茨城県支部 特設ページ

水戸赤十字病院 (水戸市三の丸)



令和7年12月から、水戸赤十字病院で「無痛分娩」を開始しました。

無痛分娩は、腰から細い管を挿入して麻酔薬を注入する「硬膜外麻酔」という方法を用い、出産時の痛みをやわらげる分娩方法です。痛みがやわらぐことで心身に余裕が生まれ、落ち着いてお産に臨めるほか、体力の消耗やストレスの軽減にもつながるといわれています。

なお、現在は経産婦の方を対象に、週1件のみの実施としています。また、自然陣痛後に対応するオンデマンド分娩ではなく、事前に分娩日を決めて行う「計画無痛分娩」として実施するなど、一部制限を設けて運用しています。

今後は、対象となる方や対応可能な件数を段階的に拡大していく予定です。

当院は茨城県の地域周産期母子医療センターとして、産婦人科・小児科・麻酔科をはじめ、助産師・スタッフなど多職種が連携し、安心して妊娠・出産を迎える環境づくりに努めています。

古河赤十字病院 (古河市下山町)



令和7年9月17日、船山大循環器内科部長を講師に、当院会議室で市民公開講座「狭心症・心筋梗塞治療の最前線」を行いました。この講座は市民のみなさまの健康意識向上を目的に開催したもので、古河市の方を中心とした25人に参加いただきましたほか、NHK水戸放送局、ケーブルテレビ古河に取材いただきました。

参加者からは「狭心症と心筋梗塞の違いがよく分かった」「生活習慣などに気を付けたい」「気になる症状があつて申し込んだが、とても勉強になった。不安がなくなった」などの感想が寄せられました。

市民公開講座は令和8年2月26日にも「いつまでも自分の足で歩くために！健康寿命を延ばす『足の血管』ケア」（講師：坂野康人 院長補佐 兼 当院心臓血管外科部長）の内容で開催します。今後もみなさまの健康づくりに役立つ取り組みを続けていきます。

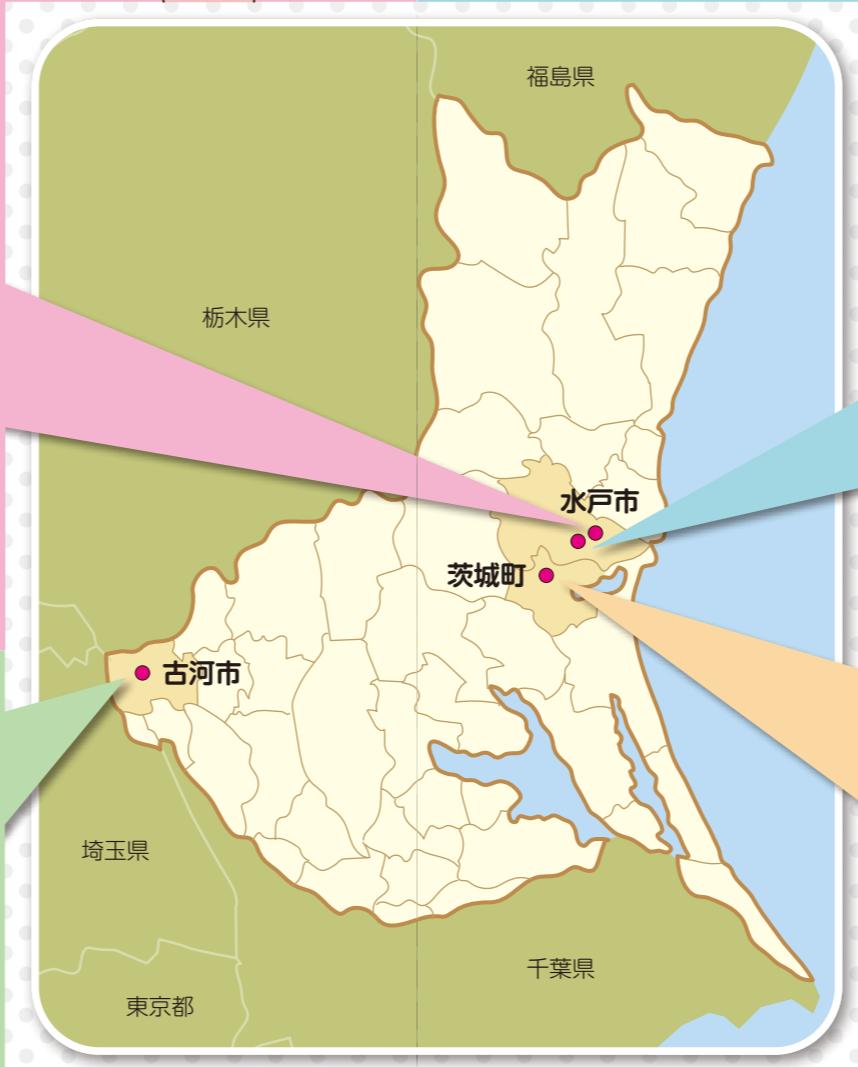
日本赤十字社茨城県支部 乳児院 (水戸市小吹町)



地域交流ふれあい祭り

庭の木々が色づき、心地よい秋風が吹くなか、子どもたちの笑い声が響きました。実に6年ぶりの開催となったお祭りですが、当日は天候にも恵まれ、当院の子どもたちはもちろん、巣立っていった子どもたちや地域の皆さま、たくさんのボランティアの方々にご参加いただきました。子どもたちは、的当てなどのゲームを楽しんだり、青空の下で焼きそばやポテトを頬張ったりして、元気いっぱいに過ごしました。多くの方が一緒に過ごすなかで、つながりの大切さを改めて感じた秋の日でした。

これからも地域の皆さんと心を寄せ合いながら、子どもたちの笑顔を見守っていきたいと思います。



茨城県赤十字血液センター (茨城町桜の郷)



当センターでは、若い世代に献血への理解と関心を深めていただくために献血セミナーを行っています。8月4日には茨城高校JRC部の皆さんのが来訪され、献血バスや血液保管施設での見学を通じて、献血への理解を深めていただきました。

また8月6日に、プロバレーボールチーム「つくばユナイテッドSun GAIA」様主催のサマーキャンプで、約400人の10代から20代の皆様に献血セミナーを実施、スポーツと貧血の関係、献血と輸血の仕組み、若年層の献血者減少など、真剣に耳を傾けていただきました。献血セミナーのご希望は当センターホームページまたは献血推進課直通（029-246-5574）までお問い合わせください。



企業・団体のみなさまへ

顧客の購入・利用で
赤十字とつながる
赤十字支援マーク

使用イメージ



食品・飲料



バナー掲載や広告

「赤十字支援マーク」は、日本赤十字社の理念と事業に賛同し、資金や活動に協力していただける企業・団体様がご利用いただけるマークです。Webサイト・パンフレット・広告、商品あるいはそのパッケージなどに貼付して、赤十字活動を支援してくださっている事実を表すためにご利用いただけます。

既に県内複数の企業様より
赤十字支援マークを使用した寄付付き商品やバナー掲載で
ご支援いただいております

使用条件・申請方法など制度の詳細は

茨城県支部 組織振興課

電話029-284-1380（直通）にお尋ねください



企業・法人による
ご協力について

いばらき赤十字法人サポーター制度のご案内

日本赤十字社茨城県支部では、当支部の事業活動を積極的に支援する企業・団体のみなさまとのパートナーシップの確立などを目的に「いばらき赤十字法人サポーター」制度を設けています。

制度概要



一定額以上当支部に活動資金の
ご協力を頂いた企業・団体様を
当支部広報媒体でご紹介します



資格証を発行します
社会貢献を内外にPRする上で
ご活用ください

登録費用・会費

毎年1回以上、サポーター
基準以上の活動資金のご協
力があれば、その他費用は
掛かりません

登録方法

当年度累計3万円以上のご協力で自動登録いたします
詳しくは当支部ホームページ内、本制度ご案内ページをご覧ください
(問い合わせ) 茨城県支部 組織振興課 TEL: 029-284-1380

ご案内ページ



令和7年度いばらき赤十字法人サポーター

わたしたちは日本赤十字社茨城県支部の活動を継続的に支援しています。

株式会社秋山工務店
有限会社吉葉商店
株式会社弓削コンクリート工業所
株式会社ほけんサポートつくば
株式会社ケースホールディングス
海老根建設株式会社
ハタヤ商事株式会社
金沢産業株式会社
茨城県学校生活協同組合
株式会社バリューファーム・コンサルティング
株式会社新みらい
湖南電設株式会社
株式会社茨城県社会福祉事業協力会

三勇建設株式会社
一般社団法人茨城県建設業協会
株式会社市原工業
株式会社瀧工務店
株式会社吉田組
公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団
株式会社霞工業
株式会社タイショーター
高塚建設工業株式会社
株式会社コスマソニックツーワン
株式会社ササモト
株式会社イズム

エム・ケイ・アール株式会社
株式会社常陽銀行
吉藤運送株式会社
有限会社サンタムール
茨城県信用組合
株式会社伊藤鐵工所
芙蓉リビング株式会社
日立電設工事株式会社
有限会社湖月庵
有限会社ヒロキ防災システム
医療法人社団聰帆会阿部田医院
医療法人社団美澄会

令和7年11月30日現在（登録順・敬称略）

みなさまのご寄付が赤十字を支えています

活動資金の主な使途（一例）

救護班の活動



救急法等の
資材整備



青少年赤十字活動の
推進



県内全44市町村への
緊急セットなどの配備



茨城県支部WEBサイト
寄付について

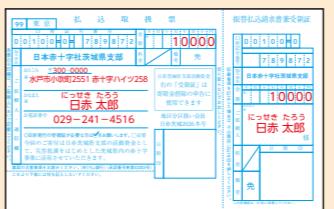
日本赤十字社茨城県支部の各種事業は、みなさまから寄せられた「赤十字活動資金」で運営しております
ご支援に心より感謝申し上げます

赤十字活動資金のご協力方法



郵便局から

下の払込取扱票をお使いください



①寄付額 ②ご住所
③お名前 ④お電話番号
をご記入のうえ
窓口でお手続きください



クレジットカード
専用サイトから
<https://donate.jrc.or.jp/>

市役所・町村役場

各市町村の赤十字担当窓口で受け付けています

遺贈・相続財産寄付

故人様の尊いご意思に応えるため、遺言によるご寄付（遺贈）
や相続された財産によるご寄付を承っております
日本赤十字社茨城県支部にご相談ください

活動資金のご寄付には表彰制度、税制上の優遇措置があります
詳しくは日本赤十字社茨城県支部にお問い合わせください

赤十字活動資金は義援金・救援金とは異なります

国内義援金は被災都道府県に設置された配分委員会を通じて、寄付の全額
が被災者に分配されます。
海外救援金は、現地赤十字・赤新月組織が行う救援活動等に使用されます。
なお、義援金・救援金の募集や管理にかかる経費は、赤十字活動資金から
支出しています。

日本赤十字社
茨城県支部
活動資金専用
払込取扱票

赤十字へのご寄付は任意です。
この広報紙をはじめ、赤十字からの各種ご案内は、
ご寄付を強制するものではありません。
ご依頼人において記載してください。

99 東京		払込取扱票										
口座記号	番号	記号	番号	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
00100	0	7	8	9	8	7	2	0	0	0	0	0
加入者名	日本赤十字社茨城県支部										料金	備考
おところ	〒 -										※	免
おなまえ	おなまえ										※	
お電話番号												
◎日赤発行の受領証が必要な方は <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。□必要												
今回のご寄付は日赤茨城県支部の活動資金として、災害救護をはじめとした茨城県内の赤十字事業に活用させていただきます。												
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第53203号)												
これより下部には何も記入しないでください。												

口座記号番号	7	8	9	8	7	2		
加入者名	日本赤十字社茨城県支部							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
おなまえ	※							
ご依頼人							料金	備考
日附							日附印	免
料金							備考	免

この受領証は、大切に保管してください。